

落雷・竜巻について

❖ 雷は人の命を奪うこともある

高い所、高く突き出た物に、雷は落ちやすい性質がありますが、落雷事故死の半数以上を占めているのは、グラウンドなどの開けた平地にいるときと木の下で雨宿りをしているときです。

❖ 雷から身を守るために

雷鳴が聞こえたり、雷雲が近づいてきたりした場合は、グラウンドやゴルフ場、屋外プール、堤防や砂浜、海上などの開けた場所、山頂や尾根などの高い所では注意が必要です。

樹木などの高い物に近づかない

雷は、樹木などの高い所や高く突き出た物に落ちやすいので、特に木の近くにいる場合は、最低でも木(幹・枝・葉)から2m以上は離れましょう。

開けた場所から避難する

グラウンドなどの開けた場所では、人に直撃しやすくなるので危険です。すぐに安全な場所(鉄筋コンクリートの建築物・自動車・バス・列車の内部など)に避難しましょう。

安全な場所がないとき

近くに安全な場所がないときは、電柱などの高い所から4m以上離れた場所に退避します。姿勢を低くして、持ち物は高く突き出さないようにしましょう。



❖ 竜巻は日本のどこでも発生する

近年、日本でも竜巻による被害がたびたび発生しています。竜巻は季節を問わず発生していますが、特に台風シーズンの9月、10月に多く確認されています。

竜巻が発生すると、中心部では猛烈な風が吹き、家屋の倒壊や車両の転倒、飛来物の衝突などにより、短時間で大きな被害をもたらすことがあります。建物の瓦礫や看板などが空中に巻き上げられ飛来物となっており、大きな被害を及ぼすことがあります。

❖ 竜巻から身を守るために

屋内にいるとき

突風や飛来物による窓ガラス破損や建物損壊の危険があるため、一般の住宅では1階の窓の少ない部屋に移動し、雨戸、カーテンを閉め、窓から離れて丈夫な机の下で竜巻の通過を待ちましょう。

屋外にいるとき

頑丈な建物の物陰に入って、身を小さくして竜巻の通過を待ちます。

電柱や太い樹木であっても倒壊することがあり、危険ですので、できるだけ離れましょう。

日頃の備え

竜巻注意情報等の情報の入手方法を調べておきましょう。(P.3～4) 身の回りの避難する場所(頑丈な建物)を考えておきましょう。

合わせガラスの使用や、ガラス飛散防止フィルムの貼り付けなどの窓ガラスの防止対策をし、竜巻が接近したら、雨戸、カーテンを閉めておきましょう。



Point

気象庁が発表する
「竜巻注意情報」を確認しましょう。